

右御關所支配所へ引越ニ付、家内之もの通行ノ節、鐵附小女とも振袖ヲ著用いたし候事ノ由、  
既ニ新居御關所通行之砌、御關所同心内藤正平江家來ノ女通行心得方問合候之節、都而鐵附  
小女とも振袖著用爲致候由申聞候、依之私家内之もの共ハ、手當も爲致可申候得共、手附手代  
又者足輕杯、至而身輕之もの迄、振袖著用不致候而者、通行難相成御規定ニ御座候哉、一體手代  
已下など、振袖著用可致身分にも御座有間鋪哉ニ候得共、於御關所ハ、如何様身輕きもニ而も、  
著用不爲致候而者難相成儀ニ御座候哉、此段心得方伺置度奉存候、以上、

辰二月

御書面、關所之小女并鐵漿附小女共通行之節、振袖著用之義、御問合之趣致承知候、手附手代并  
身輕ノ者、百姓町人之娘ニ而も、於關所振袖著用爲致可請事、

但新居與御認有之候得共、今切關所與相認可申事、

天保二卯十月、箱根御關所女通行心得方ノ儀、水野出羽守殿家來ヲ以て、大久保加賀守殿家來  
江同問合いたし候處、左之通、

箱根御關所御用ニ付、遠國江家内引越等之節、通行心得方御問合申候、

一 御御見以上ノ乗物并下女之分とも、御關所御門際江駕籠之儘留置、尤通行前家來江、御關所手  
形爲持通達いたし候心得ニ候、

此箇條本文之通ニ而宜御座候

一 改與して老婆罷出候由、御手判ニ者無之候共、悉ク髮ヲ解改候御規定ニ候哉、承知いたし度候、

此箇條本文之通ニ而宜御座候

一 鐵漿附小女とも、振袖ヲ著用不致候而者、通行方不相成御規定ニ候哉、